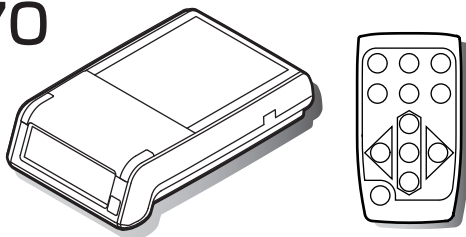


# GL770



この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

## 目次

●ご使用上の注意	2~3
●各部の名称	4~5
●ご使用にあたって	6~8
●取付け方法	9~10
●操作方法	
・電源を入れる	11
・テスト機能、音量調整、バッテリーチェック機能	12
・オートパワーオフ機能	13
・各機能のON/OFF設定	14~15
・レーダー受信感度の設定(ASC-V/i)	16~17
・振動センサーの調整(LSC-V/i)	18~19
・ミュートマーク(機能)について	19
●警報について(GPS)	
・オービス/ユーザー登録ポイント警報	20
・Nシステム/NHシステム警報/設定	21
・チェックポイントによる警報	22
・ポリスエリアによる警報	22
・サービス/パーキングエリア警報	22
●警報について(レーダー)	23
●警報について(無線)	
・受信範囲の切替について	24
・カーロケ警報	25
・350.1Mz(取締り用連絡無線)警報	26
・デジタル無線警報	26
・署活系無線警報	27
・ワイド無線警報	27

・警察/消防ヘリテレ無線警報	28
・取締り特小無線警報	28
・レッカー無線警報	29
・新救急無線警報	29
・消防無線警報	29
・JH無線警報	30
・パトロールエリア警報	30
●機能	
・ロードセレクト機能	31
・ユーザー登録ポイント追加/オービス警報キャンセル機能	32
・レーダーキャンセル機能	33
・おまかせ機能	34
・時計表示と速度表示機能	35
・コンパス機能	35
・オートボリュームダウン機能	35
・オートディマー機能	36
・データリセット	36
・ディスプレイモード(販売店向け)	36
●取締りの種類と方法	37~38
●その他	
・リモコンについて	39
・故障かな?と思ったら	40
・製品仕様	41
●さくいん	42
●保証規定	43
●保証書	裏面

# ご使用上の注意

ご使用前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

## 警告

警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

## 注意

注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

## 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器ですので衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理をご依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。



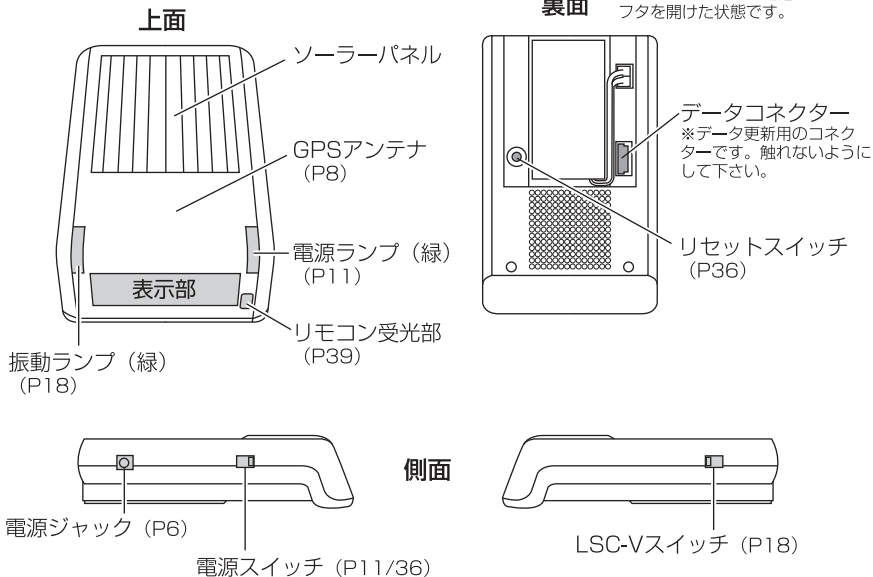
## 注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。（但し、内蔵電池、テープ等の消耗品は保証の対象となりません。）
- 本製品の近くに他のGPS機能を持つ製品を設置しないで下さい。誤作動を起こす可能性があります。
- GPS衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品のGPS機能が働かない為、GPSによる警報、表示、メモリー機能が正常に働きません。（トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等）
- 車載テレビ等でUHF56チャンネルを受信（設定）しているとGPS衛星を受信できない事があります。その様な場合、車載テレビ等のチューナー部から離しGPS受信に影響のない衛星の受信箇所へ本製品を取付けて下さい。
- 本製品の受信機能は製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 本製品のGPS警報は予め登録されたオービス・Nシステム・チェックポイント・警察・SA/PA（サービスエリア/パーキングエリア）とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。また、シガープラグコードを接続しないと警報しない機能があります。
- 一部ナビゲーションシステムで漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品のレーダー受信機能が受信する事があります。
- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で本製品のレーダー受信機能が受信する事がありますが、誤動作ではありません。予めご了承下さい。（自動ドア・防犯センサー・車輻通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部。）
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS衛星とレーダー波の電波が受信できない場合があります。
- 内蔵バッテリーは約5年が交換時期の目安となりますが使用状況によっては寿命が短くなります。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付け下さい。
- 本製品を厳寒地や曇りの日が続く時にご使用になる場合、内蔵バッテリーの性能が十分に発揮できない場合があります。付属のシガープラグコードを接続してご使用下さい。
- 環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様及び、外観は改良の為、予告なく変更する事があります。ご了承下さい。
- 本製品はDC12V車専用です。（DC24V車へのお取付はできません。）
- キーをOFFにした時、シガープラグの電源がOVにならない車輛（外車など）は車輛バッテリーを保護する為、エンジンを始動していない時は、必ずシガープラグコードを抜いて使用するか、又は弊社オプションのSS-063電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続して下さい。
- バッテリー収納部にリセットスイッチがありますので、電池フタを開ける時はネジにあったプラスドライバーが必要になります。
- 本製品はリモコンが無いと各機能設定することができません。設定には必ずリモコンが必要になります。

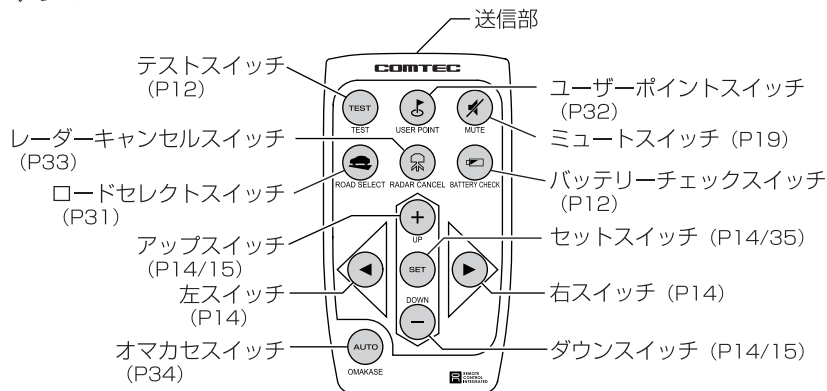
※本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

# 各部の名称 (製品本体)

## ◇レーダー本体



## ◇リモコン



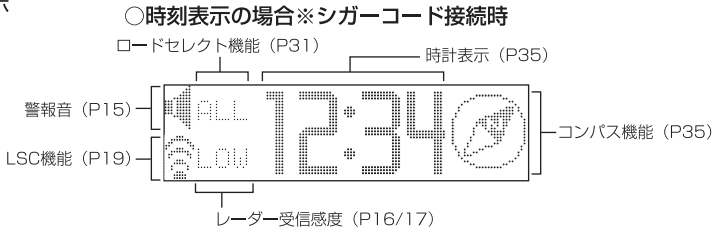
※イラストはイメージであり実際の製品とは異なる場合があります。



# 各部の名称 (液晶表示) (梱包内容)

## ●液晶表示

### ■待機表示



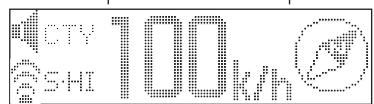
### ○ソーラーバッテリーのみで使用の場合

衛星受信表示 (P11)



### ○速度表示の場合※シガーコード接続時

速度表示 (P35)



### ■警報表示※警報中は文字表示とイラスト表示が交互に表示します。

#### ○レーダー、無線警報の場合

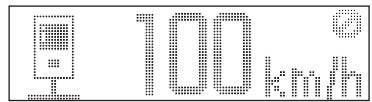
受信レベル (P23/24~30)



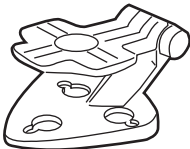
受信種類

#### ○オービス (GPS) 警報の場合

ミュートマーク (P19)



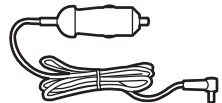
## ●梱包内容



ステー (1個)



ステー止めネジ (1個)



シガープラグコード (1個)



ファスナーテープ (1セット)



平ワッシャー (1個)



両面テープ (1枚)

# ご使用にあたって

## ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

- 本製品は、商品出荷時には検査用予備充電のみされており、長時間、充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時は必ず付属のシガープラグを使用し、**エンジンをかけて4時間以上充電してください**。(充電は断続的に行う事も可能ですが、その場合、目安として8時間以上充電してください)
- 通常の使用状況においてソーラーパネルの発電量と回路消費電力のバランスがとれるように設計されています。ただし下記のような場合、発電量が不足しローバッテリーサイン(内蔵バッテリー充電不足)が表示される事があります。もしこのような症状が現れた場合、付属のシガープラグコードを使用して定期的に充電を行ってください。
  - 1.屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所での長時間駐車。
  - 2.冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる。
  - 3.高速道路・交通量の多い道路・鉄道の線路近く等、絶えず振動を受けて動作状態になる。
  - 4.夜間走行の頻度が多い。
  - 5.全ての機能をONにした状態で長時間使用する。
- 本製品に搭載しているGPS受信機能は、従来のレーダー探知機に比べより多くの電力を必要とし、ご使用条件によっては電池の消費が早い場合があります。また、ソーラーバッテリーで動作時は全ての受信機能を間欠動作しますが、付属のシガープラグコードを接続してご使用する場合は連続動作となり、より安定した状態でのご使用が可能です。
- 車輛のシガープラグ接続で充電が困難な場合(長いエンジン始動ができない場合など)弊社オプションのSS-065 AC100V専用充電器で家庭用(100V)コンセントから充電することができます。

### ◇ローバッテリーサイン

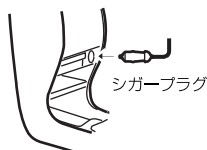
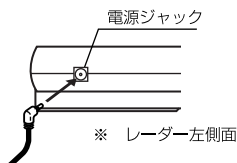
- ローバッテリーサイン…内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、アナウンスでお知らせします。(下記表参照)

内蔵バッテリー状態	機能・ランプ	アナウンス
充電40%以下	GPS機能を停止します。	ブーピー バッテリーチェック GPS機能停止します。
充電20%以下	全受信機能を停止します。	ブーピー バッテリーチェック 充電を行って下さい。

※バッテリーが40%以下になるとGPS機能(オービス警報、時計、速度表示等)が停止します  
・バッテリー充電が20%以下の場合は使用状況によっては突然、全機能を停止する場合もあります。

### ◇充電の方法

- ① 製品本体の電源ジャックに付属のシガープラグコードを差し込みます。
- ② 車輛シガーソケットに付属のシガープラグコードを差し込みます。
- ③ 車輛のエンジンを始動した状態で充電を行ってください。



# ご使用にあたって

## ◇ソーラーバッテリー動作とシガープラグコード接続動作

- 本製品は、ソーラーバッテリー動作時はより長時間動作するよう、またシガープラグコード接続時はより安定動作を行い、GPS機能をフル活用できるように設計されています。ソーラーバッテリー動作、シガープラグコード接続動作で下記表の機能が変わります。

		12V連動モード	ソーラーモード	
電源の使用状態		シガー接続使用	シガー接続使用	ソーラーのみで使用
電源スイッチの位置 (P11)				
GPS受信 (P8)		連続受信	連続受信	間欠受信
ASC機能 (P16.17)		ASC-i (GPSデータ利用)	ASC-i (GPSデータ利用)	ASC-V (振動センサー利用)
LSC機能 (P18.19)		LSC-i (GPSデータ利用)	LSC-i (GPSデータ利用)	LSC-V (振動センサー利用)
ローバッテリーサイン (P6)		表示なし	表示なし	表示あり
時計表示 (P35) 速度表示 (P35) コンパス表示 (P35)		表示あり	表示あり	表示なし
GPS 警報	オービス/ユーザー登録 ポイント警報 (P20)	2Km手前より警報 ※高速のみ	2Km手前より警報 ※高速のみ	1Km手前より警報
	Nシステム (P21) チェックポイント (P22) SA/PA (P22)	警報する	警報する	警報する
	ポリスエリア (P22)	警報する	警報する	警報しない
無線 警報	カーロケ (P25) 350.1MHz (P26) デジタル (P26)	警報する	警報する	警報する
	署活系 (P27) ワイド (P27) 警察/消防ヘリテレ (P28) 取締特小 (P28) レッカー (P29) 新救急 (P29) 消防 (P29) JH (P30)	警報する	警報する	警報しない
ユーザー登録 (P32) レーダーキャンセル (P33)		有効	有効	有効
液晶バックライト		常に青点灯、警報時は橙点灯		待機時は消灯 ボタン操作時は一定時間 青点灯 警報時は橙点灯

# ご使用にあたって

## ◇GPS機能について

### ●GPSとは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

### ●GPSレシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データ等）とを比較演算し、接近すると警報を行います

### ●間欠動作システム

本製品をソーラーバッテリーでご使用の場合、長時間使用を行えるよう省電力設計をし、GPS受信を間欠動作させることでより一層、消費電力の軽減を行っております。その為、GPS機能（警報、登録等）において、若干の時間差が発生する場合があります。また、シガーコードを接続し有線使用して頂ければ、GPS受信を連続動作で行う為、より安定した状態でのご使用が可能です。

### ●衛星受信開始時間／受信復帰時間

GPSレシーバーの電源オンから衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的にGPS衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信する迄の時間。

（高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができず、警報が行えない場合があります。注意してください。）

#### ◇受信開始時間

衛星受信できない状態	衛星受信迄の復帰時間
10秒以下	2秒程度
10秒～60秒	5秒程度
60秒以上	10秒以上

#### ◇受信復帰時間

前回、電源OFFしてからの時間	衛星受信迄の時間
～5時間	～10秒程度
～数日間	～1分程度
ご購入後又は、1ヶ月程度以上	～5分程度

※参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。

### ●衛星データ

本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速める為です。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。

### ●GPS測定誤差について

本製品の測定計測機能は衛星の受信状態等により、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。

### ●GPS衛星受信と車載テレビチューナー

車載テレビ等でUHF56チャンネルを受信（設定）しているとGPS衛星を受信できない事があります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離しGPS衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

### ●登録データについて

データ作成年度・バージョンはパッケージ及び、本製品に記載しています。

（注）今現在でも新たにオービス・Nシステムが増設されており、又、調査箇所以外にもオービス・Nシステムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全の為、必ず法定速度内で走行してください。

## ◇データ更新について

- ・本製品の登録データは最新バージョンへの書き換えが可能です。（有料）
- ・最新バージョンデータのリリースについては、販売店店頭・コムテックホームページにてお知らせ致します。

ホームページアドレスは <http://www.e-comtec.co.jp> です。

## ◇液晶表示画面について

- 液晶表示部は周囲の温度が約75℃以上になると液晶表示画面の全体が黒くなったり、約-10℃以下になると表示する文字、イラストが遅れて表示したり、表示した物が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶パネルの特性であって故障ではありません。周囲の温度が液晶パネルの安定動作する温度になると元の状態にもどります。

※上記の状態で液晶表示されていない場合でもその他の機能は正常に作動します。

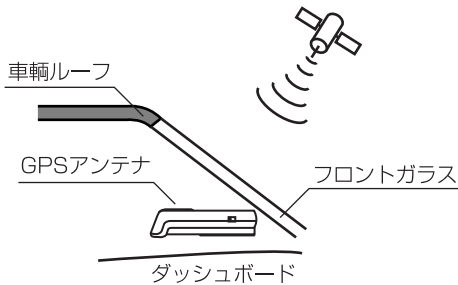
- ・液晶バックライトは青と橙の2色です。

# 取付け方法

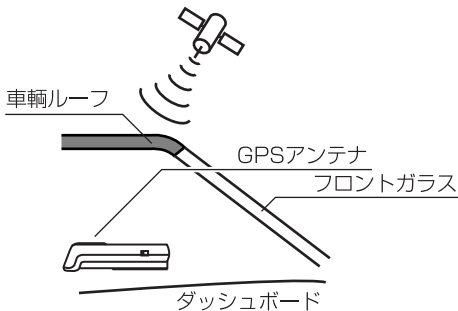
## ◇取付けの前に

- ・フロントガラスがUVカットガラス等の場合、ソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグをご使用下さい。
- ・運転や視界の妨げにならず、車輻の機能（エアバック等）に影響のない場所にと付けて下さい。
- ・GPSアンテナ上方向、前方向に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分注意して下さい。
- ・道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けて下さい。

○ 障害物がないので電波の受信ができる



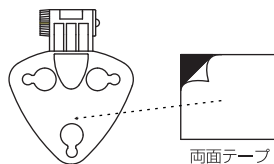
✕ 車輻ルーフによって電波が受信できない



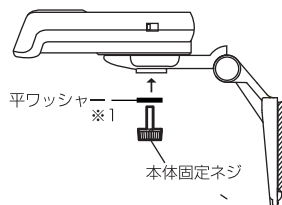
# 取付け方法

## ◇ダッシュボードへの取付け

- 1** ステーに両面テープを取付けます。

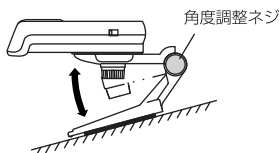


- 2** レーダー受信機本体をステーに取付け、本体固定ビスに平ワッシャーを入れて回し締めます。



※1 ワッシャーが無いと、本体がぐらつきま  
すご注意ください。

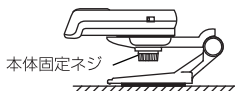
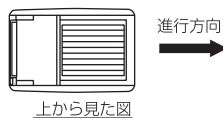
- 3** ダッシュボード上に固定します。  
レーダー受信機が地面と平行になるよ  
うに角度調整後、角度調整ネジを手でし  
っかり締めます。



### ⚠ 警告

エアバックの飛び出し場所等、運転や視界の妨げに  
ならない場所に取付けしてください。  
誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

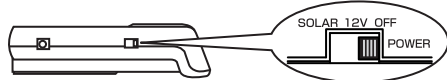
- 4** レーダー受信部が、進行方向に向くよ  
うに、調整した後、本体固定ネジを手でし  
っかり締めます。

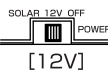
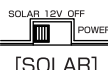


## ◇電源を入れる

●本製品はシガーコード電源を使用する【12V連動モード】とシガーコード電源又はソーラー電源を使用する【ソーラーモード】を電源スイッチで設定します。

1 本製品の電源スイッチを [12V] 又は [SOLAR] (下図) のいずれかに合わせます。

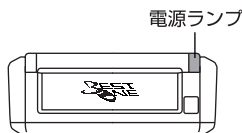


スイッチ位置	モード	使用状態
OFF	———	機能OFF:シガーコードを接続してエンジン始動状態で本体を充電できます。
 [12V]	12V連動モード	<u>シガーコードを接続して使用する場合</u> シガープラグ電源と連動する為、エンジン始動時に本体がONし、エンジン停止時に本体の電源がOFFします。
 [SOLAR]	ソーラーモード	<u>ソーラーのみ(シガー配線しない)で使用する場合</u> ソーラー充電による充電電池を使用して作動します。車の振動を検出して、振動がある場合は本体をONし、振動がなくなると少し時間がたってから本体をOFFします。 ※充電する場合はシガーコード接続が必要になります。又、接続した状態でも本体を使用することができます。

※エンジンを停止してもシガープラグに電圧が12Vある車(一部外車など)は必ずシガーコードを配線する場合オプションのSS-063「電源配線ユニット」を使用して下さい。

2 電源ランプがついて液晶画面が表示します。

### ●電源ランプの光りかた



<b>シガープラグコードから電源使用の場合</b>
本機の電源ランプが <b>点灯</b> します。
<b>ソーラーから電源使用の場合(シガープラグコード非接続)</b>
本機の電源ランプが <b>点滅</b> します。

○電源スイッチで本体をONした時、約数秒～数分でGPS衛星を受信し、下記、音声アナウンスと液晶画面にイラスト表示を行います。

**「ピンポーン 衛星を受信しました。」**

GPS衛星受信した時の液晶表示	
 シガー電源 使用時	 ソーラーバッテ リー使用時

**GPS衛星を受信できないと・・・**

○電源がONになり電源ランプが点灯、又は点滅してから約3分間、衛星の正確な受信ができていない場合、下記、音声アナウンスを行います。

**「ピンポーン 衛星を受信できません。」**

※アナウンス後、衛星を受信すると「ピンポーン衛星を受信しました。」とアナウンスして衛星受信状態になります。

◇衛星を受信ができない場合、下記の原因が考えられます。

- ①フロントガラスが断熱ガラス(金属コーティング・金属粉入り等)
- ②ミラー式フィルム装着車の場合

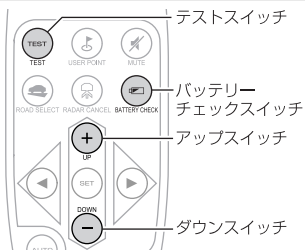
※GPS機能についての詳しい内容はP8「GPS機能について」をご覧ください。

# 操作方法

## ◇テスト機能、音量調整、バッテリーチェック機能

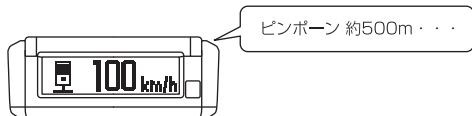
### ●テスト機能、音量調整、バッテリーチェック機能とは

本製品がどのような音量で警報をするのかを確認できるテスト機能と、バッテリー状態を確認するバッテリーチェック機能です。



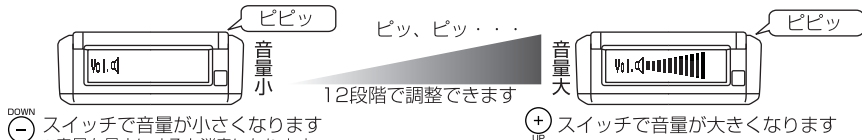
### ●テスト機能を使用する

電源スイッチをONにして電源ランプの点灯、又は点滅を確認してからリモコン 【テスト】スイッチを押すと本体からテスト音が鳴ります。



### ●音量を調整する

【アップ】スイッチ、 【ダウン】スイッチで12段階で音量調整ができます。液晶表示部を確認しながら適度な音量に調整して下さい。



### ●バッテリー状態をチェックする ※シガーコード非接続時のみ

電源スイッチをONにして電源ランプの点滅を確認してから 【バッテリーチェック】スイッチを押します。

内蔵バッテリー状態	「アナウンス」 液晶表示イラスト	本製品の受信機能
充電良好です。	「バッテリーは十分です」 	全ての受信機能は作動します。
	「バッテリーは60%です」 	
充電をお薦めします。	「バッテリーは40%です」 	バッテリー残量によってGPS機能のみを停止または全受信機能を停止します。
充電が必要です。	「バッテリーは20%です」 	

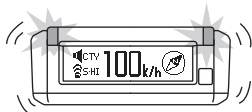
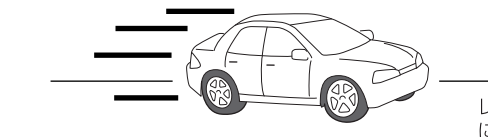
※電源ランプが点灯（シガー接続時）した状態でバッテリーチェックを行うとレーダー本体から「ブー」と音が鳴り操作できません。



## ◇オートパワーオフ機能 ※ソーラーモードのみ

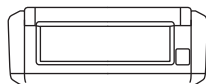
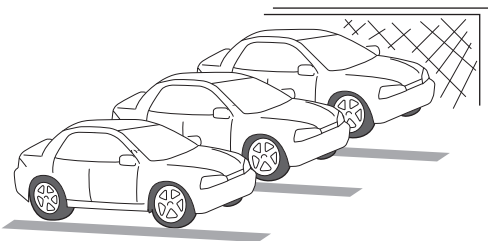
- LSC-V機能の設定（P18）を行う事で車輛振動を検出してエンジン停止で駐車場等、振動の無い状態が続くと自動的に本製品の電源が切れます。  
オートパワーオフ状態の時、エンジン始動や走行振動を検出した場合、自動的に本製品の電源が入ります。

### ◇レーダーが振動を検出（エンジン始動時、走行時）



レーダーが振動を検出し自動的に電源がONになり、電源ランプと振動ランプが点滅します。

### ◇レーダーが振動を検出していない時（停車時）



振動がなくなると自動的に電源がOFFになり、振動ランプ、電源ランプの順に消灯します。

※振動や騒音の激しい場所に駐車している場合は、本製品が振動を検知して電源が切れない場合があります。その場合、電源スイッチで電源を切ってください。

※車種によっては走行中でも低速走行や停車中に振動が検出できない状態が続き、振動検出が行えない場合はオートパワーオフ機能が働きます。

※ソーラーモードでシガーコードから電源供給（エンジン始動）時はLSC-i機能（P19）が作動しますがキーオフになると電源供給が無くなり（エンジン停止）自動的にLSC-V機能に切替わります。その際、振動の無い状態が続くと自動的に本製品の電源が切れます。

# 操作方法

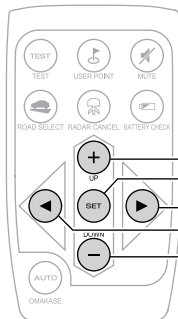
※工場出荷時、データリセット (P36) の時は、おまかせ機能がマニュアルモード (P34) で各設定の内容はオールONモードになります。

## ◇各機能のON/OFF設定 ※マニュアルモード (P34) のみ設定できます

●各機能のON/OFFの設定ができます。各機能は音声アナウンスにてお知らせします。

### 設定方法

※電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。



アップスイッチ  
セットスイッチ  
右スイッチ  
左スイッチ  
ダウンスイッチ

### 1 リモコンの 【セット】 スイッチを長押しします。



例：デジタル無線設定の場合

設定モードです。  
ビープビープ カーロケ無線の設定  
です。現在○○※です

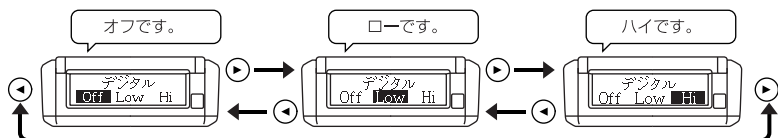
※ ○○には現在の設定内容をアナウンスします。

### 2 リモコンの 【アップ】 又は 【ダウン】 スイッチを押す 毎に右記 (P15) の順にモードが切り替わります。



ビープビープ デジタル無線の設定  
です。現在、オフ 設定です。

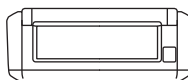
### 3 設定したいモードを選択しリモコンの 【左】 又は 【右】 スイッチを押し詳細機能を設定します。



※設定する項目によって表示は異なります。  
・反転した文字場所が設定箇所になります。

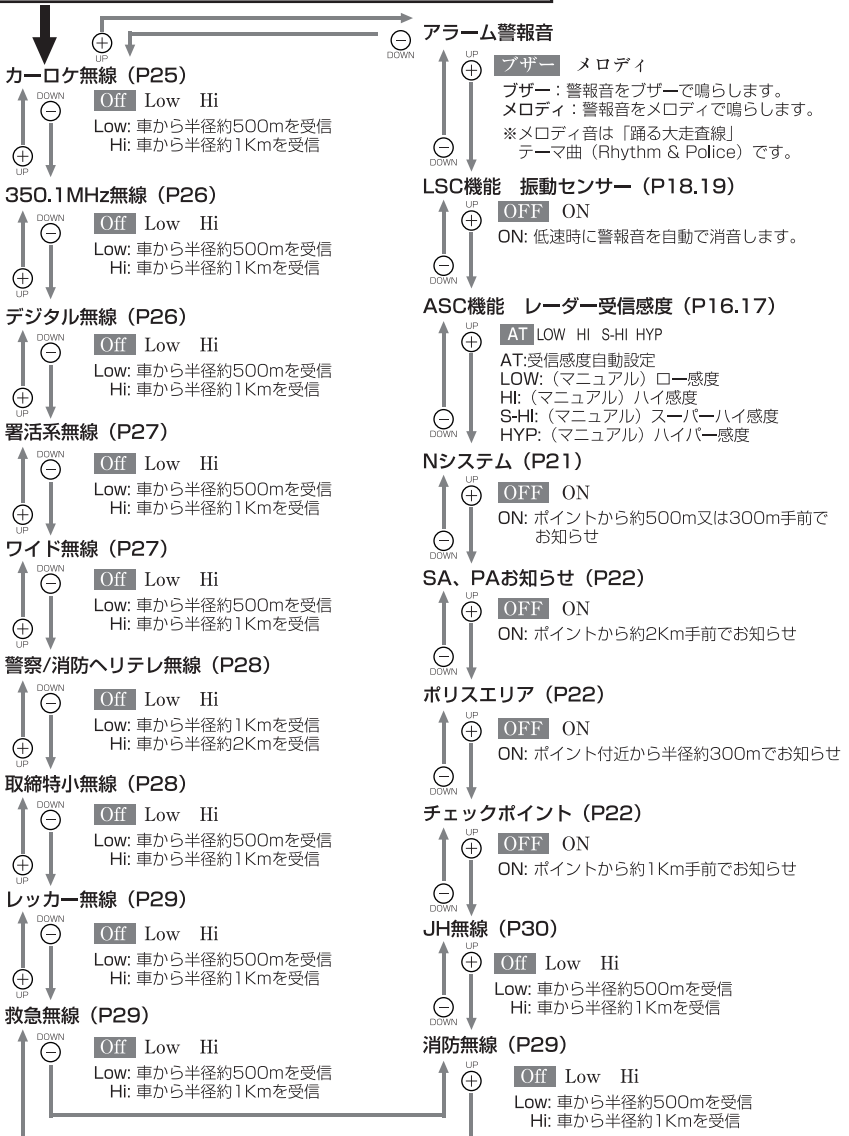
### 4 設定を続ける場合は 2 へ、終了する場合は 【セット】 スイッチを長押しするか、又は何もス イッチを押さないと約30秒後、自動的に待機モードに切り替わります。

○設定終了は  
30秒間操作しない  
又は  
 スイッチを長押し



設定終了します。

◇設定モードはカーロケ設定から始まります。





# 操作方法

## ◇レーダー受信感度の設定 (ASC-V/i機能)

### ●ASC機能とは

車の走行する時速などによってレーダーの受信する感度を自動的に調整したり、マニュアル設定で受信感度を固定することもできます。感度を自動設定することにより高速走行中はレーダー感度を上げて警報しやすくし、低速走行中（渋滞など）はレーダー感度を下げて警報を鳴りにくくします。

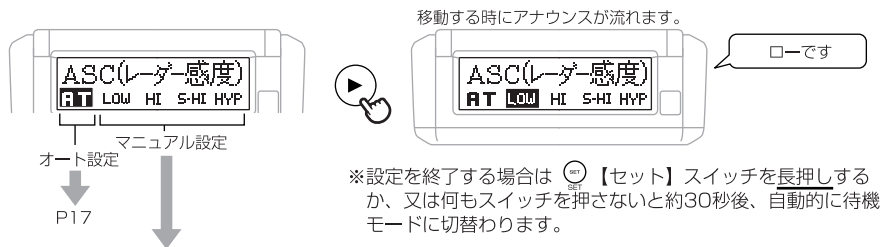
- 本製品には、レーダー受信感度をHYPER（ハイパー）、S-HI（スーパーハイ）、HI（ハイ）LOW（ロー）の4段階に手動設定するマニュアル設定機能と、走行状況に応じて適切な受信感度を自動設定するASC機能（オート・センシティブ・コントロールの略称）を設定することができます。（各感度の警報タイミングにつきましてはP23「レーダー取締り機の受信による警報」をご覧ください。）

設定	状態	
		
AT 自動設定	信号待ち、低速走行時など	走行中
マニュアル設定 HYP（ハイパー）の場合		HYPER（ハイパー）感度のまま固定

### 設定方法

※電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

P14/15の設定モードでASC機能設定に合わせ ◀【左】スイッチ、▶【右】スイッチで左右に動かし「AT」オート、「LOW」ロー、「HI」ハイ、「S-HI」スーパーハイ、「HYP」ハイパーを選んで設定します。



### ○マニュアルに設定にした場合 (LOW/HI/S-HI/HYP選択時)

下記表を参照し最適な受信感度を設定して下さい

受信感度	適切な走行場所	走行状態	待機時液晶画面表示 (P5)
LOW (ロー)	市街地	低速走行	LOW
HI (ハイ)	郊外地	中速走行	HI
S-HI (スーパーハイ)	郊外地・高速道路	中・高速走行	S-HI
HYP (ハイパー)	高速道路	高速走行	HYP

## ○オート設定にした場合（AT選択時）

走行速度に対して適切なレーダー受信感度に自動に変わります。ソーラーバッテリー使用時とシガープラグコード接続使用時では検出方法が異なります。

電源をシガープラグから取った場合	その他の場合
ASC-i機能	ASC-V機能

## ■ ASC-i機能

### ●ASC-iとは・・・

オート・センシティブ・コントロール インテリジェンスの略称で、GPS機能を使用して算出した自車の走行速度にあわせて適切なレーダー受信感度を自動で設定する機能です

受信感度	走行速度
LOW（ロー）	30km/h未満
HI（ハイ）	30km/h～60km/h
S-HI（スーパーハイ）	60km/h～80km/h
HYP（ハイパー）	80km/h以上

※ASC-i機能設定状態で、GPS衛星の受信が行えない場合は受信感度HYP（ハイパー）に固定されます。

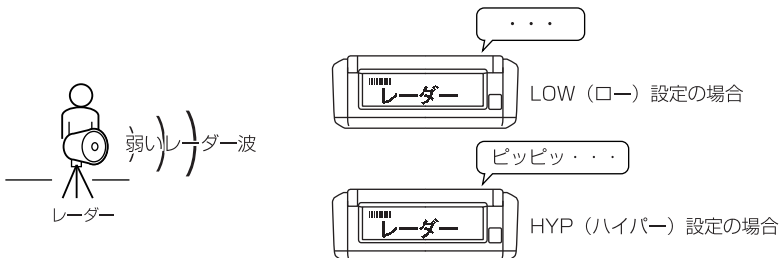
## ■ ASC-V機能

### ●ASC-Vとは・・・

オート・センシティブ・コントロール バイブレーションの略称で、走行中の速度変化による車輻振動を検出し、適切なレーダー受信感度を自動設定する機能です。

## ⚠ レーダー警報が鳴らない？

受信したレーダー波が弱いと、レーダー感度設定によっては警報表示はしますが警報音が鳴らない場合があります。



# 操作方法

## ◇振動センサーの調整 (LSC機能)

### ●LSC機能とは

ロー・スピード・キャンセルの略称です。車が低速走行時、警告音を自動的にカットするための機能です。本製品はLSC-VとLSC-iの2通りの機能を採用しています。



ただし無線警報（カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド警察/消防ヘリテレ、取締特小、レッカー、新救急、消防、JH）は各設定がON設定であればLSC設定に関係なく警報を行います。

※LSC機能設定をOFFにした場合は走行速度に関係なく警報を行います。

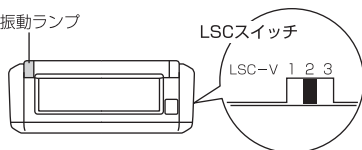
### ■ LSC-V機能 ■■■■■ ロー・スピード・キャンセル・バイブレーション

●本製品が**ソーラーモードでシガーコード接続をしていない**場合に有効です。駐・停車時と走行時の振動差を検出して警報音をカットします。

**設定方法** ○電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点滅している状態で設定を行って下さい。

アイドリング状態（駐・停車時）で振動ランプが3回点滅（早い）し**走行状態で、1回点滅**するよう下記表を参照し車輛にあった状態にLSCスイッチを設定して下さい。

振動ランプ



LSCスイッチ	振動検出感度	車輛タイプ（目安）
1	低	ディーゼル（振動の大きい車輛）
2	中	ガソリン/ディーゼル
3	高	ガソリン（振動の小さい車輛）

### ○振動ランプの点滅の仕方

#### LSC (P15) ON 設定時

状態	振動ランプ	警報
停車中	早い3回点滅	しない
走行中	1回点滅	する

#### LSC (P15) OFF 設定時

状態	振動ランプ	警報
停車中	早い3回点滅	する
走行中	1回点滅	

※オートパワーオフ（P13）時は全てのランプは消灯します。

### ⚠ 注意

車輛振動が極端に大きな車や、駐停車時、走行時の振動差が小さい車はLSC機能が正常に働かないことがあります。本製品の取付け位置によっても振動の検出度合いが変わる事があります。

## ■ LSC-i機能

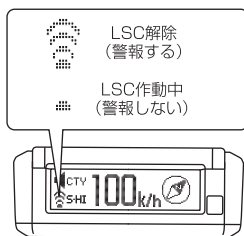
- 本製品が**シガープラグコードで電源を取って作動**している場合のみ有効です。

GPS機能を使用して算出した自車の走行速度が30Km/h以下の場合、警報中でもLSC-i機能が作動して警報音をカットします。



- LSCマークについて (LSC-V/i共通)

LSC機能の作動を2段階表示で液晶表示部にて確認することができます。



状態	走行状態	表示マーク	警報
LSC-V	停車中	●	しない
	走行中	●	する
LSC-i	停車中～30Km/h	●	しない
	30Km/h以上	●	する
LSC機能をOFF又は衛星を受信していない時		●	する

※警報を行っていない時はミュートマークが点灯します。

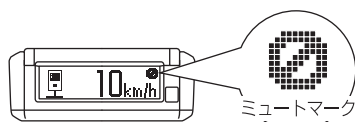
## ◇ミュートマーク (機能) について

- ミュートマークについて

警報中にリモコンのミュートスイッチ操作やLSC機能が作動中など警報が鳴らない表示としてミュートマークが表示されミュートマーク表示中は警報を行いません。ミュート状態は、その時受信している電波がなくなり、待機画面に戻るとミュートが解除されます。



ミュートスイッチ  
※リモコン操作でレーダー  
本体から「ミュートします」  
とアナウンスします。  
もう一度押すと解除されます。



リモコン操作以外にオービスキャンセル (P32) 登録場所、レーダーキャンセル (P33) 登録場所での警報キャンセル時、LSC機能作動中にミュートマークが点灯します。

注意！

Nシステム、チェックポイント、SA、PAポリスエリア警報時にミュート操作を行った場合、「ミュートします」とアナウンスして消音動作を行います。ミュートマークは表示されません。

また上記ミュート中に再度リモコンでミュート操作を行った場合ミュートは解除されず、もう一度「ミュートします」とアナウンスされます。

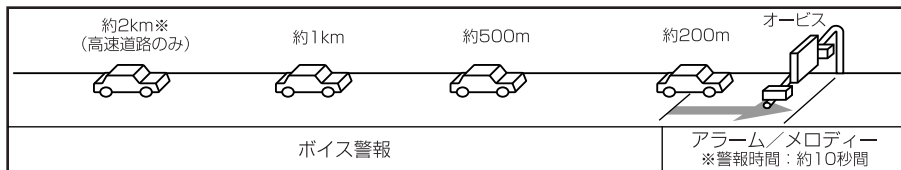
# 警報について (GPS)

◇オービス、ユーザー登録ポイント警報 (GPSスピードガンinfo) ※衛星を受信中のみ作動する機能です。

●オービスポイントに接近した場合、下記の様に警報を行います。

※対向車線上のオービスへの警報は行いません。

警報を行う距離 (注) GPS電波が受信できていない状態では、GPS警報ができません。



(注) ※約2km地点での警報は、シガープラグコードを接続した状態でご使用の場合のみ行います。

警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。

○オービス警報・ユーザー登録ポイント警報の内容

オービス種類	ボイス内容 ※ ( ) 内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。	液晶表示内容
ループコイル 光電管	ピンポーン 約(※1)先 (※2)上ループコイルがあります。 時速は約(※3)キロです。	0 km/h ⇄ ループコイル 500m ※5 交互に表示
LHシステム	ピンポーン 約(※1)先 (※2)上LHシステムがあります 時速は約(※3)キロです。	0 km/h ⇄ LHシステム 500m ※5 交互に表示
Hシステム	ピンポーン 約(※1)先 (※2)上Hシステムがあります。 時速は約(※3)キロです。	0 km/h ⇄ Hシステム 500m ※5 交互に表示
レーダー	ピンポーン 約(※1)先 (※2)上レーダーがあります。 時速は約(※3)キロです。	0 km/h ⇄ レーダー 500m ※5 交互に表示
トンネル出口 付近	ピンポーン トンネル出口(※4)があります。 時速は約(※3)キロです。	0 km/h ⇄ オービスにより 表示は変わります 交互に表示
ユーザー登録 ポイント(P32)	ピンポーン 約(※1)先 (※2)上ユーザーポイントがあります。 時速は約(※3)キロです。	0 km/h ⇄ ユーザーポイント 500m ※5 交互に表示

※1・・2キロ、1キロ、500mいずれかをアナウンスします。2キロは高速道路のみ

※2・・高速道路、一般道路のいずれかをアナウンスします。ロードセレクト (P31) の設定でも変わります。

※3・・アナウンスを始めた時の時速を約10km単位 (四捨五入) でアナウンスします。190km以上は「190キロオーバー」です。」とアナウンスします。

※4・・現在の時速を表示します。

※5・・オービスまでの予測距離又はチュウイ文字を表示します。

! ※3のアナウンスの時速はアナウンスした時の時速であり液晶表示される時速(※4)は現在の走行している時速なのでアナウンス時速と表示される時速は違う場合があります。  
GPSオービス警報中にミュート (P19)、警報キャンセル設定 (P32)、音量調整以外のリモコン操作を行うと警報音が途中で消音しますので押さないで下さい。

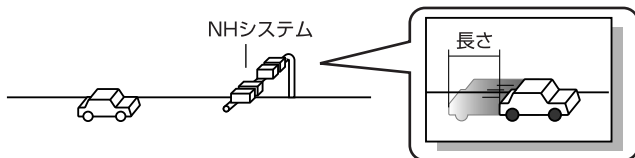


# 警報について (GPS)

## ◇Nシステム/NHシステム警報と設定 (N/NH SYSTEM info) ※衛星を受信中のみ作動する機能です。

### ●NHシステムとは

通過車輛を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車輛識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



### ●Nシステム/NHシステム設定

すべてのNシステム機能（警報）をP14/15の設定によりON/OFFすることができます。


### ●Nシステム/NHシステムポイントに接近した場合、下記の様に警報を行います。

※対向車線上のNシステム/NHシステムへの警報は行いません。

○警報を行う距離 (注) GPS電波が受信できていない状態では、GPS警報ができません。



○警報の内容 ※本製品は、NHシステムをNシステムとして警報を行います。

ボイス内容	液晶表示内容
ピンポーン この先 ( 高速道路上 ) Nシステムがあります。 一般道路上	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">Nシステム</div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;">交互に表示</div> 





(注) 警報を行う距離は、対象とするNシステム/NHシステムからの直線距離です。道路の高差カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

# 警報について (GPS)

## ◇チェックポイントによる警報 (トラップポイントinfo) ※衛星を受信中のみ作動する機能です。

- 速度取締りを中心に頻繁に行われているエリアや過去に取締りの事例があるエリアが予め本機に登録しており、チェックポイントに接近すると約1Km手前で注意をお知らせし離れば回避をお知らせします。



※P14/15の設定により機能をON/OFFすることができます。

ボイス内容	液晶表示内容
ピンポーン チェックポイントに接近ご注意ください。	 
ピンポーン チェックポイントを回避しました。	 

## ◇ポリスエリア警報 (ポリスロケットinfo) ※衛星を受信中でシガーコード接続時のみ作動する機能です。

- 本機に登録されている警察署付近に接近 (約300m) するとお知らせします。







※P14/15の設定により機能をON/OFFすることができます。

ボイス内容	液晶表示内容
ピンポーン ポリスエリアに接近ご注意ください。	 

## ◇サービスエリア・パーキングエリア警報 (SA/PA info) ※衛星を受信中のみ作動する機能です。

- 全国の高速道路にあるサービスエリア又はパーキングエリアの位置情報を予め本機に登録しており、サービスエリア又はパーキングエリアに接近すると2Km手前でお知らせします。

※P14/15の設定により機能をON/OFFすることができます。

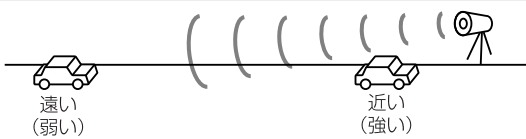





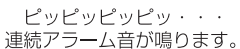
種類	ボイス内容	液晶表示内容
パーキングエリア	ピンポーン 約2キロ先 パーキングエリアがあります。	  
サービスエリア	ピンポーン 約2キロ先 サービスエリアがあります。	  

※ロードセレクト機能 (P31) がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

# 警報について (レーダー)

## ◇レーダー式取締り機の受信による警報

●レーダー式取締り機 (P37) に接近した場合、下記の様に警報を行います。

レーダー式取締り機 迄の距離 (電波の強さ)			
液晶表示		 <p>交互に表示</p> <p>※レベルメーターは下記図のように変化します。</p>	
液晶レベルメーター			
アラーム音	受信感度	LOW	警報音が鳴らない ※警報表示は行いません。
	HI	警報音が鳴る	
	S-HI		
	HYPER		
ステップアラームの タイミング			
メロディーの場合は、 テンポは変わりません			
ステルス波受信 (P37)	液晶表示	 <p>交互に表示</p> <p>※レベルメーターはレーダー波によって変化。</p>	
	警報音		※メロディー設定の場合はテンポは 変わらず警報を行います。

(注) レーダー警報中でもGPS警報、無線警報 (カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、警察/消防ヘリテレ、取締特小、レッカー、新救急、消防、JH) を優先します。

# 警報について（無線）

## ◇受信範囲の切り替えについて

●本製品は、カーローケーター、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、警察/消防ヘリテレ、取締特小、レッカー、新救急、消防、JH無線の受信感度をOFF/LOW/HIに設定（P14/15）することができます。

※無線受信を行う場合、内蔵バッテリーの消費電力が増加するためシガープラグコード接続でのご使用をお勧めします。  
注意.放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤動作する場合があります。また、VHF帯の放送局の近くを通過する場合はデジタル無線の受信をすることがあります。

○受信距離設定 各設定方法はP14/15を参照して下さい。

設定	受信種類	受信距離
Off	警報は行いません	
Low	カーローケーター、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、 取締特小、レッカー、新救急、消防、JH無線	約500m
	警察/消防ヘリテレ無線	約1000m
Hi	カーローケーター、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、 取締特小、レッカー、新救急、消防、JH無線	約1000m
	警察/消防ヘリテレ無線	約2000m

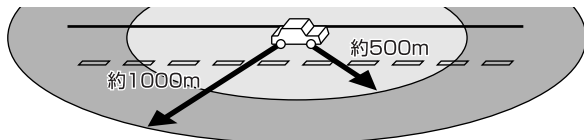
○警報画面 ※例：カーローケの場合



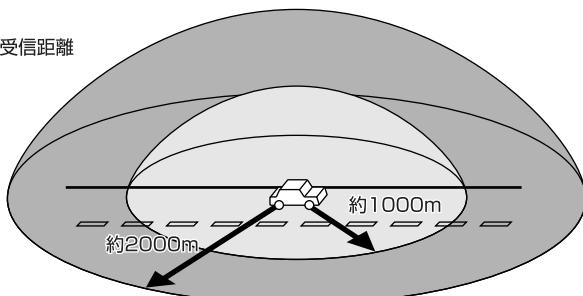
レベルメーター

・受信電波の強さによってレベルメーターが4段階に変化します。

○カーローケーター、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、レッカー、新救急、消防、JH無線



○ヘリテレ無線受信距離



注・受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。

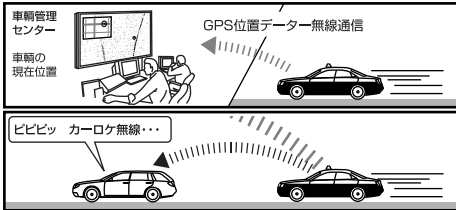
・使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

# 警報について（無線）

## ◇カーロケ受信警報

### ●カーロケーターシステムとは

「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車輛管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車輛からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。







現在、緊急車輛の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカー・ロケーターシステムを装備しています。

本製品は各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

- (注) ・一部地域または、一部緊急車輛には、カー・ロケーター・システムが装備されていない為、本製品では受信できない事があります。  
 ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車輛の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。  
 ・緊急車輛は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車輛の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。  
 ・緊急車輛がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。  
 ・送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車輛の接近に関わらず受信する事があります。  
 ・本製品が受信するカーロケーターシステムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

### ●カーロケ受信電波の状況によって遠近識別警報を行います。

◇カーロケ無線受信状況 「ボイス内容」	液晶表示内容
◇遠いカーロケ電波を受信した場合 「ピピピッ カーロケ無線を受信しました。」	 交互に表示
◇近いカーロケ電波を受信した場合 「ピピピッ 近くのカーロケ無線を受信しました 緊急車輛にご注意下さい。」	 交互に表示
◇接近するカーロケ電波を受信した場合 「ピピピッ 近くのカーロケ無線を受信しました 緊急車輛の接近にご注意下さい。」	 交互に表示
◇カーロケ電波を受信し、その後カーロケ電波を回避した場合 「ピピピッ カーロケ無線を回避しました。」	 交互に表示

※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。

# 警報について（無線）

## ◇350.1MHz警報（取締り用連絡無線）

### ●取締り連絡無線（350.1MHz）とは

取締り用連絡無線で使用される周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



ボイス内容	液晶表示内容
ピピピッ 350.1無線を受信しました。ご注意ください。 ～通話音声（デジタル信号はノイズ）～	 交互に表示

※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。

## ◇デジタル無線警報

### ●デジタル無線とは

各警察本部と移動局（緊急車輛等）とが行う無線交信で、159MHz帯～160MHz帯で約53chの電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞く事はできませんが、音声と、表示で警報を行い付近を走行する緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

●デジタル無線受信電波の状況によって遠近識別警報を行います。

◇デジタル無線受信状況 「ボイス内容」	液晶表示内容
◇遠いデジタル電波を受信した場合 「ピピピッ デジタル無線を受信しました。」	 交互に表示
◇近いデジタル電波を受信した場合 「ピピピッ 近くのデジタル無線を受信しました 緊急車輛にご注意下さい。」	 交互に表示
◇接近するデジタル電波を受信した場合 「ピピピッ デジタル無線を受信しました 緊急車輛の接近にご注意下さい。」	 交互に表示

※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。



# 警報について（無線）

## ◇署活系無線受信警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

### ●署活系無線とは

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信で約134chの電波を受信します。

ボイス内容	液晶表示内容
ピピピッ 署活系無線を受信しました ご注意下さい。	 交互に表示 

※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。







## ◇ワイド無線受信警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

### ●ワイド無線とは

Wireless Integrated Digital Equipment の略称。336～338MHz帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）とも言います。

●ワイド無線受信電波の状況によって遠近識別警報を行います。

◇ワイド無線受信状況 「ボイス内容」	液晶表示内容
◇遠いワイド電波を受信した場合 「ピピピッ ワイド無線を受信しました。」	 交互に表示 
◇近いワイド電波を受信した場合 「ピピピッ 近くのワイド無線を受信しました 緊急車輛にご注意下さい。」	 交互に表示 
◇接近するワイド電波を受信した場合 「ピピピッ ワイド無線を受信しました 緊急車輛の接近にご注意下さい。」	 交互に表示 

※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。

# 警報について（無線）

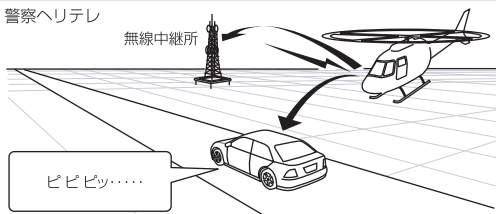
## ◇警察/消防ヘリテレ無線警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

### ●警察/消防ヘリテレ無線とは

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察ヘリテレは警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。ヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、事件・事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。また消防ヘリテレは火事等の事故処理や連絡用として使われています。

例：警察ヘリテレ



- (注)
- ・一部地域または、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。
  - ・ヘリテレ無線はヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
  - ・送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。（警察ヘリテレのみ）

受信種類	ボイス内容	液晶表示内容	
警察ヘリテレ	ピピピッ ヘリテレ無線を受信しました ご注意ください。 ～通話音声～		交互に表示
消防ヘリテレ			

※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。  
・消防ヘリテレ、警察ヘリテレは、別々で設定できません。

## ◇取締特小無線警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

### ●取締特小無線とは

シートベルト、一旦停止など取締現場では普通350.1MHz無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

ボイス内容	液晶表示内容	
ピピピッ 特小無線を受信しました ご注意ください。		交互に表示

※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。



# 警報について（無線）


## ◇レッカー無線受信警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

### ●レッカー無線とは

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※一般の業務用無線と同じ周波数の為、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

ボイス内容	液晶表示内容
ピピピッ レッカー無線を受信しました ご注意下さい。 ～通話音声～	 交互に表示


※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。

## ◇新救急無線受信警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

### ●新救急無線とは

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

ボイス内容	液晶表示内容
ピピピッ 新救急無線を受信しました ご注意下さい。 ～通話音声～	 交互に表示


※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。

## ◇消防無線受信警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

### ●消防無線とは

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

ボイス内容	液晶表示内容
ピピピッ 消防無線を受信しました ご注意下さい。 ～通話音声～	 交互に表示

※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。

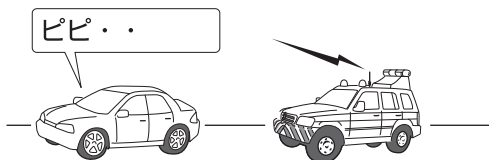
# 警報について（無線）



## ◇JH無線受信警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

### ●JH無線とは

JH（日本道路公団）が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報等でパトロール車輦と本部との連絡に使用します。



ボイス内容	液晶表示内容
ピピピッ JH無線を受信しました。 ～通話音声～	 JH  交互に表示



※走行条件に合わせてON/OFF又は受信範囲を設定することができます。詳しくは、P14/15、24参照。

## ◇パトロールエリア受信警報（パトロールエリアinfo）

### ●パトロールエリアとは

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

※必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

ボイス内容	液晶表示内容
ピピピッ パトロールエリアです ご注意下さい。	 パトロールエリア  交互に表示

- ・パトロールエリア受信の設定や受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド無線の内2つ以上の設定がONになっていないとパトロールエリア警報は行いません。
- ・ミュート機能（P19）は使用できません。

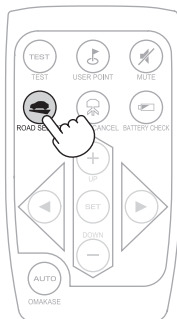
## ◇ロードセレクト機能

- 高速道路上の登録ポイントのみ警報を行う「ハイウェイモード」、一般道路上の登録ポイントのみ警報を行う「シティーモード」、高速、一般道路両方のすべての登録ポイントの警報を行う「オールモード」を選択します。

## 設定方法

※電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

リモコン  【ロードセレクト】スイッチを押す毎に **オール → シティー → ハイウェイ** の順に設定されます。



現在設定されている液晶表示



オールモードです。

シティーモードです。

ハイウェイモードです。

下記表を参照し、走行条件に合わせたROADセレクトモードを設定して下さい。

ROADセレクトモード	液晶表示	警報を行う道路
オールモード	ALL	一般道路／高速道路
シティーモード	CTY	一般道路のみ
ハイウェイモード	HWY	高速道路のみ



シティーモード設定中、走行時速が80km/hを超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると「モード確認をして下さい。」とアナウンスします。

※シガー接続時のみ

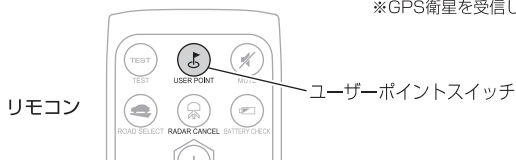
## ◇ユーザー登録ポイント追加/オービス警報キャンセル機能

※衛星を受信中のみ作動する機能です。


### ●ユーザー登録ポイントの追加機能とは・・・

本製品に未登録又は新たに設置されたオービスを任意に100件まで追加登録できます。

※GPS衛星を受信している時のみ作動する機能です。



### ○ユーザー登録ポイント追加方法

- 1 登録したい地点を走行しGPS警報を行っていない時に  【ユーザーポイント】スイッチを押します。
- 2 2秒後に「ユーザーポイント登録しました」とアナウンスができれば登録完了です。

### ○ユーザー登録ポイント削除方法


- 1 登録地点を走行しGPS警報中に  【ユーザーポイント】スイッチを**長押し**します。
- 2 「ユーザーポイント解除しました」とアナウンスができれば削除完了です。

### ●オービス警報キャンセル機能とは・・・

GPSデータに登録されている、ポイントの警報音を一件単位でキャンセル設定（消音）することができます。登録する時にユーザー登録スイッチを長押しすると登録できませんのでご注意ください。


※GPS衛星を受信している時のみ作動する機能です。

### ○警報キャンセル設定方法

- 1 キャンセル設定したい地点を走行しGPS警報中に  【ユーザーポイント】スイッチを押します。
- 2 2秒後に「キャンセルしました」とアナウンス音ができれば設定完了です。

※キャンセル設定した場合、キャンセル地点走行時はミュートマーク（P19）が点灯し警報音が消音します。

### ○警報キャンセル解除方法

- 1 キャンセル地点を走行しミュートマーク（P19）が点灯中に  【ユーザーポイント】スイッチを**長押し**します。
- 2 「キャンセル解除しました」とアナウンスがながれミュートマークが消灯し、警報音が鳴ります。

※ソーラーモード（P11）で内蔵バッテリー作動時は登録スイッチを押してからアナウンスが流れるまでに3～5秒程の時間差があります。

・工場出荷状態（最初）から登録してあるオービスポイント・Nシステムで設定ができます。

### ユーザー登録ポイント追加、オービス警報キャンセルができない場合・・・

- ・GPS衛星が受信できないと”ピンポーン 衛星をサーチ中です ”とアナウンスが流れます。
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約200m）に再度、登録しようとした場合、”登録できません ”とアナウンスが流れます。
- ・ユーザー登録ポイントを100件以上登録した場合、”メモリーフルです ”とアナウンスが流れます。

## ◇レーダーキャンセル機能

※衛星を受信中のみ作動する機能です。

## ●レーダーキャンセル機能とは・・・

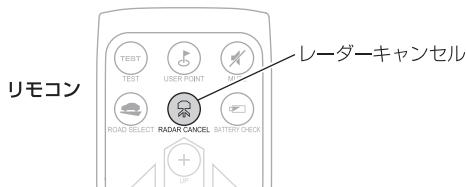
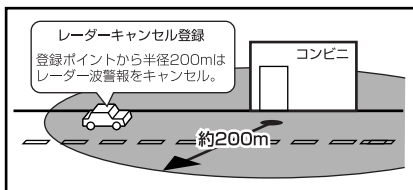
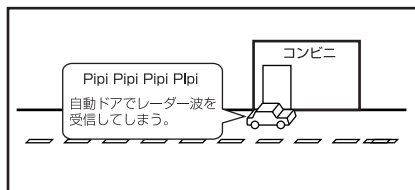
自動ドア等、レーダー波を受信してしまう場所等を登録すれば、約半径200m内のレーダー警報をキャンセル（消音）します。（登録件数：50件）

※GPS衛星を受信している時のみ作動する機能です。


・GPS電波を受信できてない状態では、登録できません。

・登録する時にレーダーキャンセルスイッチを長押しすると登録できませんのでご注意ください。

（警）運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください




## ○レーダーキャンセル登録方法

**1** レーダー警報時に  【レーダーキャンセル】スイッチを押します。

**2** 2秒後に「レーダーキャンセルポイント登録しました。」とアナウンス音ができれば登録完了です。

※レーダーキャンセル登録位置を走行した場合、ミュートマーク（P19）が点灯し警報音が消音します。

## ○レーダーキャンセル削除方法

**1** レーダーキャンセル登録地点を走行時、ミュートマーク（P19）が点灯中の位置で、 【レーダーキャンセル】スイッチを長押しします。

**2** 「レーダーキャンセルポイント消去しました」とアナウンス音ができれば削除完了です。

※ソーラーモード（P11）で内蔵バッテリー作動時は登録スイッチを押してからアナウンスが流れるまでに3～5秒程の時間差があります。

## レーダーキャンセルができない場合・・・

- ・レーダー（ステルス含む）受信中でもGPS衛星を受信できないと”ピンポン”衛星をサーチ中”とアナウンスが流れます。
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約200m）に再度、登録しようとした場合、”登録できません”とアナウンスが流れます
- ・レーダーキャンセルを50件以上登録した場合、”メモリーフルです”とアナウンスが流れます。

# 機能

## ◇おまかせ機能

※工場出荷時、データリセット (P36) 時は、おまかせ機能がマニュアルモード (P34) で各設定の内容はオールONモードになります。

### ●おまかせ機能とは

1つのボタン操作ですべての設定を変更できる機能です。3種類の中から選んで設定できます。

おまかせモード . . . 一般的によく使用する機能のみONにします。

オールONモード . . . 全ての設定をON、HIに設定します。

マニュアルモード . . . P14/15で選んだ設定になります。

※おまかせモード、オールONモードの時はP14/15の各設定はできません。

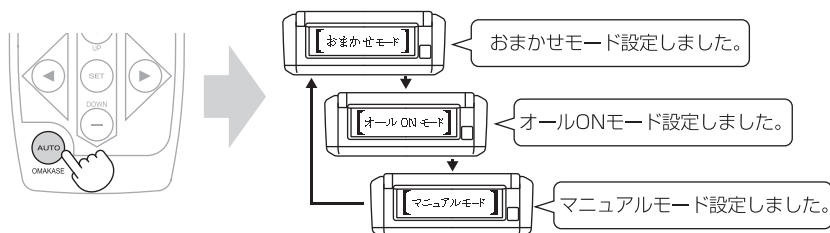
### 設定方法

※電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。



【おまかせ】スイッチを押す毎に

→おまかせモード→オールONモード→マニュアルモードの順番に設定されます。



◇モード設定で下表の設定になります

機能		おまかせモード	オールオンモード	マニュアルモード
無線警報	カーロケ	HI	HI	P14/15の設定になります。オールリセット、工場出荷状態時の内容はオールオンモードの内容になります。
	350.1MHz			
	デジタル			
	署活系	OFF		
	ワイド			
	警察/消防ヘリテレ	HI		
	取締特小	HI		
	レッカー	OFF		
	新救急			
	消防			
JH				
GPS警報	チェックポイント	ON	ON	
	ポリスエリア	OFF		
	SA/PA			
	Nシステム			
その他機能	ASC機能	AT (オート)	AT (オート)	
	LSC機能	ON	ON	
	アラーム音	ブザー	ブザー	
	ロードセレクト	オールモード	オールモード	P31で設定したモード

※おまかせモード、オールオンモードの設定中はP14/15の設定モード操作しても操作できずにリーダー本体から「プー」と音が鳴ります。

・おまかせ機能設定を行ってもシガーコード接続で電源を取っていない場合、作動しない機能があります。

・全てのモードでロードセレクトの変更はできません。ただしマニュアルモード以外はおまかせ機能を設定する毎にオールモードになります。

・工場出荷状態はマニュアルモードです。

## ◇時計表示機能と速度表示機能

※衛星を受信中でシガーコード接続時のみ作動する機能です。

## ■時計表示について

- 本機には、GPSの時間DATA情報を利用して現在の時刻を表示することができます。
- ※衛星のデータを利用する為、時刻の設定はありません。
- ※GPS情報によっては現在の時刻と本機の時間に誤差が生じることがありますがこれは故障ではありません。また電源がONになってからGPS受信するまでは時計表示せず「—:—」表示されます。

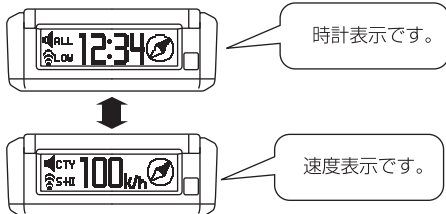
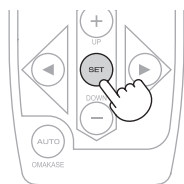
## ■速度表示について

- 本機には、GPSの位置DATA情報を利用して車速を表示することができます。
- ※GPSのデータによって速度を算出しておりますので、車輛の速度メーターと、表示速度が異なる場合があります。
- ・GPSが受信できないと、速度表示が変化しません。
- ・時速10Km/h以下の時は正確な車速が表示されない場合があります。
- ・GPSの受信が不安定な場所（高架下、ビルの間等）では正確な車速が表示されない場合があります。

## ●設定方法

※電源スイッチ(P11)を入れて電源ランプが点灯している状態で設定を行って下さい。

電源がONになっていることを確かめてから **SET** 【セット】 スイッチを押します。押す毎に時計表示、速度表示と交互に表示し設定します。



時計表示です。

速度表示です。

※シガー接続していない状態で設定するとレーダー本体から「ブー」と音が鳴り設定できません。

## ◇コンパス機能

※衛星を受信中でシガーコード接続時のみ作動する機能です。

- 本機には、GPSの位置DATA情報を利用して走行中に車輛の進行方向（8方位）を表示することができます。



現在、自転車に対してのどちらが北側が表示します。

⚠ 自転車の進行方向の表示はしていません。

- ※GPSが受信できないと、コンパス表示しません。
- ・時速10Km/h以下の時は正確な表示がされない場合があります。
- ・GPSの受信が不安定な場所（高架下、ビルの間等）では正確な表示がされない場合があります。

## ◇オートボリュームダウン機能

- 本機がレーダー受信警報してから約15秒後に、警報音を自動でボリュームをダウンします。一度警報が解除されると元の警報音に戻ります。

## ◇オートディマー機能

- GPS情報と太陽光の強弱によって自動的に電源ランプ、振動ランプの表示の明るさを調整します。

○GPS情報を利用した場合のオートディマー作動時刻

時 期	オートディマー作動時刻
4月～10月	18:00～5:00
11月～3月	17:00～6:00

○ソーラーパネルを利用した場合のオートディマー

- ・ソーラーパネル(P4)の発電量を利用して、明るさを調整します。

## ◇データリセット

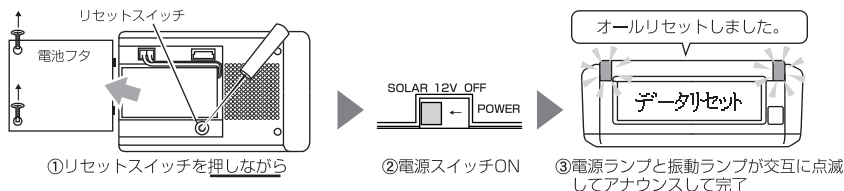
- 全ての登録を行ったデータをリセット(初期化)し、商品出荷時の状態に戻します。

(警) データリセットを行うと、ユーザー登録ポイント・レーダーキャンセルポイント等の登録データは全て消去します。又、消去したデータの復元はできません。

(注) 商品出荷時、予め登録してあるデータは消去できません。ディスプレイモード作動中はデータリセットできません。

### リセット方法

プラスドライバーで電池フタを外し、中にあるリセットスイッチ(P4)を先のとがった物で押しながら電源スイッチ(P11)をソーラー又は12V連動モードにします。電源ランプと振動ランプが交互に点滅し数十秒後『オールリセットしました』とレーダーからアナウンスすれば完了です。データリセット後、使用条件に合わせて電源スイッチを設定して下さい。



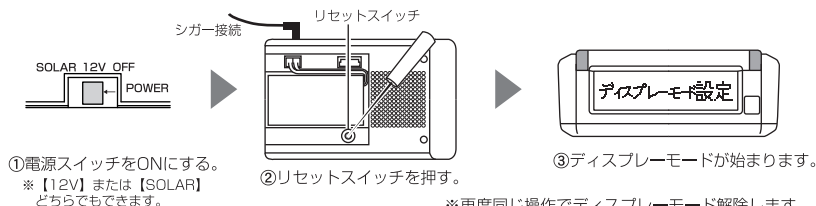
## ◇ディスプレイモード (販売店向け) ※シガーコード接続が必要です。

- 本機の一連の動きをデモンストレーションします。本機をディスプレイとして展示する場合等に設定を行って下さい。

### 設定方法

※ディスプレイモード中の音量調整はできません。ディスプレイモード設定前に音量調整(P12)を行って下さい。調整した音量でディスプレイモードが作動します。

シガーコード接続して電源スイッチ(P11)をONにし、レーダーバッテリー収納部内のリセットスイッチ(P4)を先のとがった物で押すとディスプレイモードが始まります。再度同じ操作で解除されます。



※再度同じ操作でディスプレイモード解除します。解除しないかぎりディスプレイモードは解除されません。



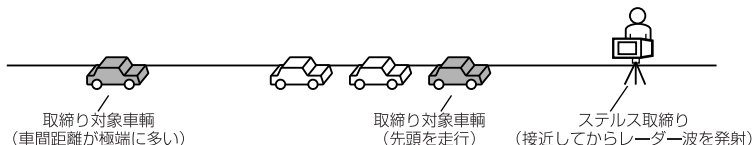
# 取締りの種類と方法

## ◇レーダー式取締り

●代表的なレーダー式取締りについての説明。

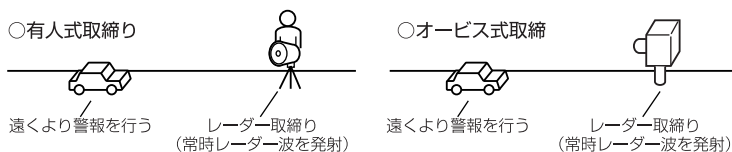
### (1) ステルス式取締り方法 (有人式取締り)

取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車輛の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を受信する場合もあり、注意が必要です。



### (2) レーダー式取締り方法 (有人式取締り / オービス式取締り)

レーダー波を常時発射し、通過する車輛の速度を測定します。また、オービス式の場合は違反車輛を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



### (3) 新Hシステム式取締り方法 (オービス式取締り)

レーダー波を間欠発射し、通過する車輛の速度を測定し違反車輛の写真撮影を自動で行い警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



### (4) 移動オービス式 / パトカー車載式

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車輛を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。(注) 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

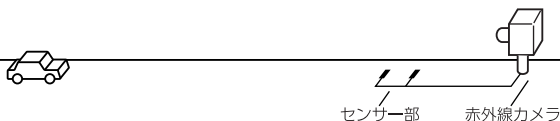
# 取締りの種類と方法

## ◇レーダー式以外の取締り

●代表的なレーダー式以外取締りについての説明。

### (1) ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車輛の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



### (2) LHシステム式取締り方法（オービス式取締り）

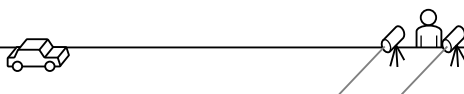
速度計測部がループコイル方式で、違反車輛の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでした。本製品では位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



### (3) 光電管式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車輛を特定します。オービス式の場合は本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

○有人式取締り



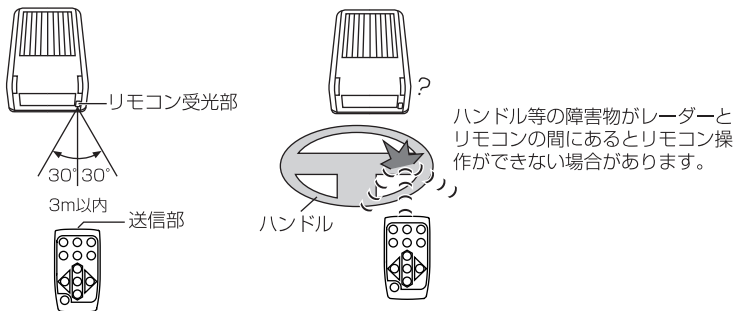
### (4) 追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車輛間隔を保った状態で後方を追尾し走行速度を測定し記録します。

◇ **リモコンについて** ⚠ 本製品はリモコン無しでレーダー本体を操作（設定等）することはできません。

## ●リモコン使用範囲について

リモコン操作ができるのは、レーダー正面の受光部から水平左右30°、直線距離約3m以内です。リモコンとレーダーの間に障害物があると、操作できない場合があります。



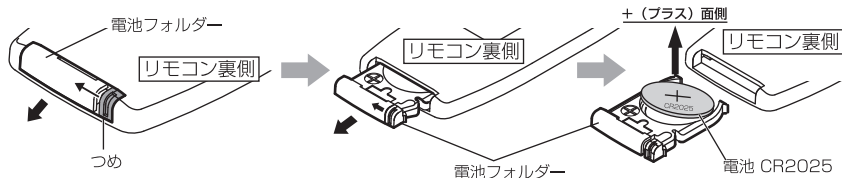
## ●リモコンの電池交換

リモコンの電池寿命はご使用状態によって変わりますが1日10回のスイッチ操作で約2年です。リモコンが作動しない、操作が鈍くなった場合などリモコンの電池交換をして下さい。

### 交換方法

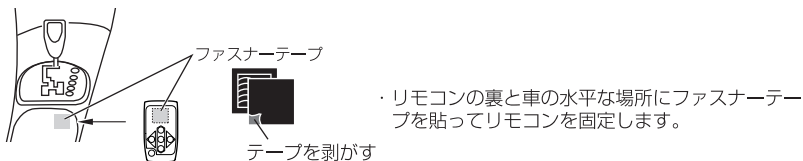
リモコン電池フォルダーのつめを内側に押して、電池フォルダーを抜きます。古い電池を取り新しい電池と入れ替え、電池フォルダーをリモコンに入れます。

※必ず電池の+（プラス）面が図のようになるように入れて下さい。



## ●リモコンの固定

リモコンを使いやすいように付属のファスナーテープで固定することができます。



## 注意

- ・リモコンを紛失した場合は販売店でリモコンをご購入下さい。リモコン型式名「RRE-X510」
- ・指定以外（CR2025を1枚）の電池を使用しないでください。
- ・落としたり、衝撃を与えないでください。
- ・リモコンは防水ではありませんので水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- ・分解しないでください。
- ・高温になる場所、直接日の当たる場所等に置かないでください。

# その他

## ◇故障かな？と思ったら

●製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●電源スイッチはオンになっていますか？	11ページ
	●ソーラー電源で使用して12V運動モードになっていませんか？	11ページ
電源ランプがつかない	●十分な充電がしてありますか？	6ページ
GPS衛星を受信しない	●電源スイッチがONになっていますか？	11ページ
	●本体は正しく取付けられていますか？	9/10ページ
	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？	9ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？	12ページ
	●ロード設定は正しく設定してありますか？	31ページ
	●LSC-V/LSC-i機能が作動していませんか？	18/19ページ
GPS警報をしない場合	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？	9ページ
	●反対（対向）車線の上のオービスではありませんか？	20ページ
	●オービス・Nシステム以外の取締り機ではありませんか？	20/21ページ
	●Nシステム警報がキャンセルしてありませんか？	14/15ページ
	●新たに設置されたオービス・Nシステムではありませんか？	8ページ
	●誤って警報キャンセルを設定していませんか？	32ページ
レーダー警報をしない場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？	37ページ
	●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？	33ページ
	●レーダー受信感度は適正ですか？	16/17ページ
無線警報しない場合	●対象はカーロケーターシステム搭載の緊急車輛ですか？	25ページ
	●各無線の設定はONになっていますか？	14/15ページ
	●シガーコード接続が必要な無線警報ではないですか？	7ページ
LSC-V/LSC-i機能が働かない	●LSC-V/LSC-i機能は正しく設定してありますか？	18/19ページ
ASC-V/ASC-i機能が働かない	●ASC-V/ASC-i機能は正しく設定してありますか？	16/17ページ
ユーザー登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？	32ページ
	●オービス・Nシステムあわせて100件以上を登録していませんか？	32ページ
レーダーキャンセル登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？	9ページ
	●50件以上を登録していませんか？	33ページ
リモコンが操作できない	●リモコンとレーダーの間に障害物はありませんか？	39ページ
	●リモコンの電池残量はありますか？	39ページ
速度表示できない	●シガープラグ接続をしていますか？	35ページ
設定モードにならない	●おまかせ機能がマニュアルモードになっていますか？	34ページ
液晶画面が真っ黒表示になる	●液晶パネルの動作温度範囲を超えていませんか？	8ページ

●製品仕様 本製品の的外観および仕様は、改良のため予告なく変更する事があります。予めご了承ください。

◇レーダー本体

電源電圧	DC12V専用	受信周波数	
最小消費電流	10mA以下	・GPS (1575.42MHz)	
最大消費電流	200mA	・Xバンド (10.525GHz)	
受信方式	パラレル16ch ダブルスーパーヘテロダイン	・Kバンド (24.200GHz)	
測位更新時間	最短1秒	・取締り用連絡無線 (350.1MHz帯)	
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式	・カーロケーターシステム (407MHz帯)	
動作温度範囲	-10℃~60℃	・デジタル無線 (159MHz帯~160MHz帯)	
連続作動時間	70時間 (おまかせモード設定時で無警報状態)	・署活系無線 (347MHz帯、361MHz帯)	
本体サイズ	70 (W) ×105.5 (L) ×26.7 (H) /mm (突起部除く)	・ワイド無線 (336MHz帯~338MHz帯)	
重量	153.0g (充電電池含む)	・警察ヘリテレ無線 (340MHz帯~372MHz帯)	
		・消防ヘリテレ無線 (382MHz帯~383MHz帯)	
		・取締特小無線 (422MHz帯)	
		・レッカー無線 (154MHz帯、 465MHz帯~468MHz帯)	
		・新救急無線 (371MHz帯)	
		・消防無線 (466MHz帯)	
		・JH無線 (383MHz帯)	

◇リモコン (型式: RRE-X510)

サイズ	40 (W) ×70 (L) ×6 (H) /mm
重量	14.8g (電池含む)
動作温度範囲	-10℃~60℃
使用電池	CR2025 (1個)

# さくいん

	ページ数		ページ数
<b>1/A</b>		<b>た</b>	
12V連動モード	11	チェックポイントの警報	22
350.1MHzの警報	26	ディスプレイモード	36
ASC-V/i	16/17	デジタル無線の警報	26
GPSについて	8	テスト機能	12
JH無線の警報	30	データ更新	8
LSC-V/i	18/19	データリセット (全てのデータ)	36
LSCマーク	19	電源を入れる	11
N/NHシステムの警報	21	取締特小無線の警報	28
SS-063	3/11	取締の種類	37/38
SS-065	6	取締用連絡無線の警報	26
		時計表示機能	35
		取付け	9/10
<b>あ</b>		<b>は</b>	
液晶パネルについて	8	パーキングエリアのお知らせ	22
オートセンシティブコントロール	16/17	バッテリーチェック	12
オートディマー	36	バトロールエリアの警報	30
オートパワーオフ	13	付属品	4/5
オートボリュームダウン	35	ヘリテレ無線の警報	28
オービス警報	20	保証	43
オービス警報キャンセル登録/解除	32	ポリスエリアの警報	22
おまかせ機能	34	ボリューム (音量)	12
音量調整	12		
<b>か</b>		<b>ま</b>	
カーロケーターの警報	25	ミュートマーク	19
警告	2	無線警報の受信感度	24
警察ヘリテレの警報	28	名称	4/5
警報音の設定	14/15	<b>や</b>	
故障かな	40	ユーザー登録ポイント追加/削除	32
コンパス表示機能	35	ユーザー登録の警報	20
<b>さ</b>		<b>ら</b>	
サーブिसエリアのお知らせ	22	リモコンについて	39
充電方法	6	レーダーキャンセル登録/解除	33
仕様	41	レーダー受信感度	23
使用上の注意	2/3	レッカー無線の警報	29
消防ヘリテレの警報	28	ロースピードキャンセル	18/19
消防無線の警報	29	ロードセレクト機能	31
署活系無線の警報	27	ローバッテリーサイン	6
新救急無線の警報	29	<b>わ</b>	
振動センサーの調整	18/19	ワイド無線の警報	27
ソーラーモード	11		
設定のON/OFF	14/15		
速度表示機能	35		